



小学生の頃、大阪の子どもが必ずとい
っていいほど、よく連れて行ってもらう
のが白浜でした。僕もその一人。家を建
てようと思いついた時、知人の勧めで何
となく見に行ったら、ぴんと来て、2000
年に移り住みました。

白浜 (和歌山県)



渋谷天外さん 62

松竹新喜劇代表

しぶや・てんがい 1954年、大阪府生まれ。77年に松
竹新喜劇入団。渋谷天笑を名乗り藤山寛美のもとで修業を積
む。91年に新生松竹新喜劇の旗揚げに伴い劇団代表に就任。
翌年、父の名跡を継いで三代目天外を襲名した。11月17〜24
日、大阪松竹座で松竹新喜劇錦秋公演に出演する。

潮の香りで深呼吸

物心ついた頃には大阪・天下
茶屋で暮らしていましたが、実
は何度も引越しをしているの
で、今では白浜が一番長くなり
ました。祖父(初代天外)も和
歌山出身なので、縁があったの
でしょう。15年には白浜町の観
光大使にも任命され、「ふるさと
と白浜」をアピールしています。

白浜を気に入っている一番の

理由は、空気が最高にいいとこ
ろ。公演中は2〜3か月、家を
空けることもありませんが、仕事
が終わって帰路につき、白浜駅
でJRの特急「くろしお」のド
アが開くと、思わず深呼吸をし
てしまう。「住めば都」かもし
れませんが、ここで暮らすと、
大阪には帰ってこられません。

好きな場所は、夏はもちろん

白良浜。春と秋は、白浜のシン
ボルでもある円月島や千畳敷。
「恋人の聖地」に選定された三
段壁もおすすぬ。真冬はサーフ
インのスポットとしても知られ
ています。友人らが来た時は車
で案内して回ります。

遊びに来られたみなさんはや
はり、海の色にはびっくりされ
ます。本当にきれいなのは10月
以降。泳げへんけど、コバルト
ブルーをしていて、砂浜は真っ
白。パトロールと称して普段か
らよく見に行っています。

おいしいものもたくさんあり
ますよ。魚好きな人にはクエな
んてたまらないでしょうし、イ

サギやマガロもいい。カツオは
新鮮なので、刺し身で食べても
らいたいですね。

1990年に亡くなった藤山
寛美先生のもとで仕事漬けの毎
日を送っていた頃は、休日でも
スケジュールを入れていた。そ
うしないと、こけてしまうよう
な気がしていた。その後、東京
に出たけれど、今度は仕事もな
くて何にもない日が続いた。「こ
れでええのかな」と思ったけど、
走っても一日、寝ても一日な
ら、充実した気持ちで送れば
いいや、と思えるようになった。
今では「ほちほちいこか」が座
右の銘。白浜に帰っても芝居の
ことは気になりますが、周り
の空気がゆったりとした気持ち
にさせてくれるかと思いま
す。僕にとって白浜で過ごす時
間は至福の時です。

白浜だけではなく、和歌山県
内の友人らと結成した「紀州文
化交流会」の理事長も務めてい
ます。「本物を呼ぼう」と、歌手
の方や作家さんに来てもらい、
うちの劇団も行きました。紀州
全体から発信できる何かが根付
くといいなと考えています。